



発行：浜松恵みキリスト教会 ホームページ：<https://toyokawa-cgc.com/hamamatsu/>



放蕩息子

聖書の中に、「放蕩息子」という、大変有名なお話があります。お父さんに二人の息子がいて、あるとき、弟子子のほうが財産の分け前をもらって家を離れ、遠い国に行ってしまいます。彼はそこで放蕩し、財産を使い果たしてしまいました。そのとき、その国に飢きんが起こり、食べることに困り始めた彼は、豚の世話をして働くことになりました。彼はユダヤ人でしたので、本来、避けなければならぬ仕事であつたのですが、生きていくためには仕方ありませんでした。しかも豚の食べる餌でお腹を満たしたいと思うほど、哀れな人になってしまいました。何故、彼はこのようなことになつてしまったのでしょうか？それは息子である自分を最も愛しているお父さんのもとを離れて自分勝手な生き方をしようとしたからです。

## 人間を創造された神

この息子とお父さんの関係は、私たち人間と真の神との関係を表しています。神のことはである聖書には真の神について次のように記されています。

『天を創造した方、すなわち神、地を形造り、これを仕上げた方、すなわちこれを堅く立てた方、これを茫漠としたものに創造せず、人の住みかこれに形造った方、まことに、この【主】（神）がこう仰せられる。「わたしが【主】（神）である。ほかにはいない。』（旧約聖書）神は地球や宇宙、全ての動植物、そして人間を創造されました。そして地球の上に人間を住ませ、生きていく上で必要なものを全てお与えになり、生かしておられるのです。『…過ぎ去った時代には、神はあらゆる国の人々がそれぞれ自分の道を歩むことを許しておられました。とはいえ、ご自身のことをあかししないでおられたではありません。すなわち、恵みをもって、天から雨を降らせ、

実りの季節を与え、食物と喜びとで、あなたがたの心を満たしてくださったのです。』（新約聖書）

## 神の愛の対象である人間

では神は何のために人間を創造されたのでしょうか？それは愛の対象としてなのです。人間は神が示された愛に応え、褒め称えて生きるという目的を与えられました。ところが人間は、真の神を全く無視しています。そのため、生きる目的を見失ったままで人生を過ごしているのです。全ての作られた物は、まず製作者が目的を考え、それにふさわしく仕組みや形を整え、完成させられているのではないのでしょうか？ならば人間は、こんなに複雑で秩序正しい仕組みが整った体を持っているのですから、誕生する前から生きる目的がはつきりしているはずなのです。その目的を人間にはつきり示すことが出来る御方は、真の神しかおられないのです。

## むなしい人生の果て

人間が神を無視して生き続けるならば、父のもとを離れた放蕩息子のように、ただ人生を自分の勝手な欲望のために浪費し続けて死に至るしかないのです。しかし、それで終わりではないのです。聖書には、人間は死後に永遠のさばきの場所である地獄に行かなければならないと書かれてあります。そこは永遠に続く火の池です。『いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。』（新約聖書）人間は真の神によって創造され、生きていく上で様々な恩恵を受けているにもかかわらず、真の神を全く無視し、軽んじています。またこの御方のさばきを恐れず、多くの罪を犯しているのです。『人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だが、それを知ることができよう。わたし、【主】（神）が心を探り、思いを調べ、それぞれその生き方により、行いの結ぶ実によって報いる。』（新約聖書）真の神は

正しい、義なる御方です。ですので、全ての罪人をさばかれます。罪人は誰もそのさばきから逃れることは出来ないのです。

### 神の愛の表れなるイエス・キリスト

しかし神は、その罪人を憐れまれ、ご自身の愛の故に救いを用意してくださいました。それは神のひとり子であられる、イエス・キリストによる救いです。キリストは人としてご誕生されました。そしてご自身がまったく罪のない方であることをそのご生涯を通して人々に示された上で、十字架に架かられました。それは私たちの罪を赦すために身代わりとなり、その上でさばきを受け、死なれるためでした。そしてキリストは死後三日目に、葬られた墓よりよみがえられました。誰でもこのイエス・キリストを、自分の全ての罪を赦してくださいさる救い主として信じ受け入れるなら、死後のさばきを受けることなく、永遠の天の御国に行ける方となる

のです。

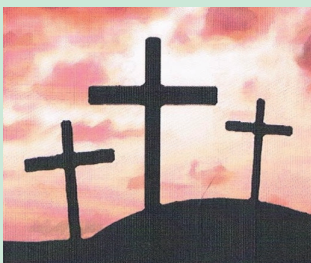
弟子たちはよみがえられたイエス・キリストを40日間、幾度となく目撃し、キリストが天に行かれて後、この御方を救い主として宣べ伝え始めました。死人がよみがえるという、誰もが信じられない話を、彼らはいのちを懸けて伝えたのです。しかもキリストがよみがえられてから約2000年経ちますが、今もなお、全世界において宣べ伝えられています。それはキリストのよみがえりが事実であるからです。そして宣べ伝えられているもう一つの理由は、真の神のもとに立ち返った者たちが神の愛を知り、大いに喜び満足しているため、その御方のことを知らせたいという強い願いがあるからです。

### 父のもとに帰った息子の幸い

放蕩息子とは豚の世話をしている間に我に返り、お父さんのところに帰って雇い人のひとりにしてもらおうと考えました。それは財産を食い潰した自分

など、息子としては受け入れてもらえないと考えたからです。しかしお父さんは、帰ってきた息子に自ら走り寄り、抱きしめ、何度も口づけしました。そして息子としての証しとなる着物や指輪などを与え、仔牛をほふり、祝宴を始めました。それ程、お父さんは息子が帰ってくることを心待ちにしていたのです。真の神は皆さんがご自身のもとに立ち返り、愛の関係をもって共に生きるようになるようにと望んでおられます。どうかイエス・キリストを救い主として信じ受け入れて死後のさばきから救われ、皆さんを愛の対象として創造された真の神に立ち返る方となってください。

『神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。』  
(新約聖書)



# 特別伝道集会のお知らせ

2026年 2月 6日 (金) ①19:30～

7日 (土) ②14:00～ ③19:30～

8日 (日) ④10:30～ ⑤14:00～

講師：山鹿 堅固 師（熊本恵みキリスト教会 牧師）

YouTubeで聖書からのメッセージを配信しています。

 熊本恵みキリスト教会 



各回託児もあります。お子様がおられる方もご遠慮なくお越しください。

参加費は一切必要ありません。貸出用の聖書もあります。



お楽しみ会


「ふしぎなボトル」をつくろう!

2026年 2月 21日 (土) 14時～ 対象年齢:3歳～小6



地図



 浜松駅より遠州浜行、または遠州温泉行  
バスで「領家郵便局」まで約6分

※お楽しみ会に参加を希望される方は事前にご連絡  
いただけますと助かります。当日の参加ももちろんOKです!

## 定例集会

日曜日	子ども礼拝	9:30～
	一般礼拝	10:30～
	聖書学び会	13:30～
水曜日	聖書学び会	19:30～
木曜日	婦人会	10:30～
土曜日	中高生会	14:00～
	聖書学び会	19:30～

※当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)、  
末日聖徒キリスト教会(モルモン教)などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。  
尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡ください。

## 浜松恵みキリスト教会

〒430-0852 浜松市中央区領家3丁目22-2

Tel:053-548-4812 牧師:畑川洋一郎、榊原康博

教会HP

